



園長だより

いっしょに楽しむ子

令和7年1月22日
富士市立昭和幼稚園

ご家族と一緒に楽しく過ごした冬休みが終わり、3学期がスタートしました。始業式の日、お正月にどのような遊びをしたのか、子どもたちに尋ねると、凧揚げ・カルタ取り・こま回し・福笑い等の答えが返ってきました。日本の伝統的な正月遊びに親しんだご家庭が多く、嬉しく思いました。昭和幼稚園の子どもたちには、豊かな心・感性が育っていくことと思います。

ひよこ組



保育園の看護師さんを講師に迎え、鼻かみ講座を開きました。片方の鼻の穴を人差し指で押さえ、息を吹き出す練習が上手にできました。今年の冬は寒さが厳しく、早くもプールに氷が張りました。前日、バケツに花や落ち葉と一緒に水を入れておいたところ、見事に結氷！嬉しそうでした。小正月を前に、繭玉づくりに挑戦。きれいな色の米粉に、思わず「おいしそう！」の声。

さくら組



プールに張った氷を手に入れようと、そーっとかみまます。大きな氷片を Get して満足気な表情を見せてくれました。繭玉づくりも上手になりました。手つきよく、真ん丸にすることができました。お家の方に準備していただいたエプロンと三角巾を身に付け、クッキングにも挑戦！トッピングを工夫して可愛く出来上がったフルーツゼリーに、どの子も大喜びでした。

青組



青組さんたちは、どの辺りに行けば大きな氷片を手に入れられるのか、考えながら場所を選んでいました。「先生、そっちから氷を押しして！」と、連携プレーも工夫。繭玉づくりでは、米粉の鮮やかな色から発想を広げ、オムライスや枝豆など、様々な形を作って楽しんでいました。エスパルスのコーチを招いてのサッカー教室では、園庭のコート内を元気に駆け回り、たくさんの笑顔と Nice Play を見せてくれました。